

産業建設常任委員会

6月20日、21日、22日、陳情1件を審査し、所管事務調査を行った。その他2箇所の現地調査も行なった。

陳情の現地調査

阿弥陀川に堆積した土砂・雑木の撤去を要求する陳情が前部落区長から提出された。

現地を確認したところ、大水が出ると堤防が決壊し、農地や家屋にも被害が及ぶ危険性が認められた。



現地で前部落区長から説明を受ける。

県に要望するよう委員会は採択すべきものとした。

財産区の状況は

問 中山地区の財産区の面積、固定資産税は。

答 中山・上中山・下

中山・逢坂の4つの財産区があり、面積は全部で1200ヘクタールある。

ほとんどが保安林のため無税で、勝手に伐採もできない。

山香荘の利用は

問 山香荘の一般会計繰入金、1148万円あるが、利用状況はどうか。

答 芝のサッカー場(2面)が売り物であるが、年々利用が減っている。リングの時期はまだ良いが冬場の利用がない。これから大山と連携をとりながら検討をしていく。

委員会の

調査・審査

ナスパルタウンの売れ行きは

問 造成した区画数と売れ残りの状況は。

答 中山地区のナスパル団地は、110戸のうち69戸が売れ残っている。

問 最近の申し込み状況と、今後の対策は。

答 4月以降に2件申し込みがあった。本庁・支所協力し、さらに専門家に委託することも考えながら営業努力をしていく。

スキー場のリフト

問 索道事業(リフトのこと)の状況は。

起債(借金)の償還が終わったので来年は3500万円くらいの黒字になる見込みである。

答 現在、経費削減に向けていろいろやっている状態で、かつて30万人利用があった頃の半分くらいである。委託を減らすなど、職員でやれることはやっている。

問 大山町の小・中学生のリフト券は、どのようになるのか。

答 旧大山町では高校生まで無料だったが、現在検討中。



町営リフトが4基設置してある中ノ原スキー場。